

News Release

平成 30 年 4 月 23 日

マスコミ各位

株式会社映画 24 区

地域×食×高校生『ぼくらのレシピ図鑑』シリーズ第 1 弾

『幸福（しあわせ）のスイッチ』の安田真奈監督が育児を経て 11 年ぶりのメガホン復帰
地元兵庫県でスマッシュヒットした映画『36.8℃（サンジュウロクトハチブ）』が東京公開

株式会社映画 24 区（東京都／代表取締役・三谷一夫）は「地域」「食」「高校生」をキーワードに全国の自治体と組んでつくるオリジナル映画「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」の第 1 弾となる映画『36.8℃サンジュウロクトハチブ』の東京公開が決定しましたのでお知らせいたします。

本映画は『ぼくらのレシピ図鑑シリーズ』の第 1 弾、「ひょうご加古川編」として、兵庫県加古川市を舞台にして制作されました。昨年 11 月に地元のイオンシネマ加古川にて先行公開され、3 週間で 2,800 人を超えるスマッシュヒットを記録、今年の 7 月に東京・新宿ケイズシネマにて上映されることが決定。今後全国に展開していきます。

監督は 2006 年に映画「幸福（しあわせ）のスイッチ（主演：上野樹里、沢田研二）」で鮮烈なるデビューをした安田真奈。映画完成後、育児のため監督業は休み、脚本業に専念しておりましたがこの度 11 年ぶりの監督復帰となりました。定評ある取材力を駆使し、自らオリジナル脚本を手がけました。

本作の主演には NHK 連続テレビ小説「わろてんか」でヒロインの妹役を務めた堀田真由。その他、渡辺真起子や寺脇康文など実力派の俳優陣が脇を固めました。

<「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」とは？>

地域の「食」をキーワードにした高校生たちの青春オリジナル映画。地元の食材やオリジナル料理が劇中にたくさん登場するのが特徴です。今後、全国の自治体と組んで、地域を徹底的に取材したオリジナル脚本で本シリーズを拡大・展開していきます。

ぼくらのレシピ図鑑公式HP

<http://bokureci.eiga24ku.jp>





サンジュウロクドハチブ
36.8°C

毎日、ちょっと嬉しかったり、
ちょっと悲しかったりの繰り返し。

遠慮がちな若菜をめぐる、恋、友情、家族…
青春は、まさに微熱。

<映画「36.8°C (サンジュウロクドハチブ)」とは?>

17歳の女子高生・若菜は、なにかと遠慮がち。家族や友達と平和に過ごしているが、時に微妙な温度差を感じて、悩んでしまう。見えない進路、家族の期待、気になる元カレ。悩みを打ち明けられるのは、SNSで知り合ったOL・みずほさんだけで…。加古川の街を舞台に、みずみずしい女子高生たちの日常を、豊かな食を交えて描く、オリジナルストーリー。

映画『36.8°Cサンジュウロクドハチブ』公式HP

<http://sanrokuhachi.jp/>

【映画監督・脚本家プロフィール】

安田真奈。奈良県出身、大阪府在住。神戸大学映画サークルで8mm映画を撮り始め、メーカーに約10年勤務の後、2006年、映画「幸福（しあわせ）のスイッチ」

監督・脚本で劇場デビュー。和歌山を舞台にした、上野樹里×沢田研二の電器屋親子物語。当作品で、第16回日本映画批評家大賞特別女性監督賞、第2回おおさかシネマフェスティバル脚本賞を受賞。

映画「猫目小僧」「劇場版 神戸在住」、NHK「やさしい花」「ちょっとは、ダラズに。」、MBS「奇跡のホスピス」、関西テレビ「大阪環状線 Part2 芦原橋駅編『ダダダゆうてドン』」「大阪環状線 Part3 寺田町駅編『宇宙のタコヤキ』」脚本担当。絵本「にじいろのネジ」文章担当。

■監督・脚本：安田真奈

■出演：堀田真由／岸本華和／西野風沙／渡辺真起子／寺脇康文／安藤瑠一／平井亜門／陣内智則／ジョーナカムラ／北原雅樹／本間淳志／陣内智則／橋詰優子

■企画：加古川市・映画24区 ■製作・配給：映画24区

■協力：ABCライツビジネス TURNS

<お問い合わせ>

株式会社映画24区

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-20-8-BF

TEL：03-3497-8824 info@eiga24ku.jp